

柏崎市国土強靱化地域計画

令和8（2026）年 月修正

新旧対照表

柏崎市国土強靱化地域計画 新旧対照表

頁	項目	修正前	修正後	改正理由
3	計画の位置づけ	市地域計画の策定に当たっては、国基本計画との調和を保ちつつ、柏崎市における最上位計画である「 <u>柏崎市第五次総合計画</u> 」及び県地域計画とも、調和・連携を図ります。	市地域計画の策定に当たっては、国基本計画との調和を保ちつつ、柏崎市における最上位計画である「 <u>柏崎市第六次総合計画</u> 」及び県地域計画とも、調和・連携を図ります。	時点修正
3	計画の期間	<u>柏崎市第五次総合計画（後期基本計画）</u> の計画期間に合わせ、 <u>令和4（2022）年4月1日から、令和8（2026）年3月31日</u> までとします。	<u>柏崎市第六次総合計画（前期基本計画）</u> の計画期間に合わせ、 <u>令和8（2026）年4月1日から、令和12（2030）年3月31日</u> までとします。	計画期間の変更
5	目標1 人命の保護を最大限図る	1－1）建物等の大規模な倒壊や火災 <u>〈新設〉</u> による多数の死傷者の発生	1－1）建物等の大規模な倒壊や火災 <u>等</u> による多数の死傷者の発生	語句整理
6	目標1 人命の保護を最大限図る	1－1）建物等の大規模な倒壊や火災 <u>〈新設〉</u> による多数の死傷者の発生	1－1）建物等の大規模な倒壊や火災 <u>等</u> による多数の死傷者の発生	語句整理
8	2-6）避難所での生活環境並びに健康管理が確保できない事態	<u>〈新設〉</u>	<u>・避難者の健康管理及び処遇調整の充実</u>	総合計画との整合
11	目標1 人命の保護を最大限図る	1－1）建物等の大規模な倒壊や火災 <u>〈新設〉</u> による多数の死傷者の発生	1－1）建物等の大規模な倒壊や火災 <u>等</u> による多数の死傷者の発生	語句整理
11	住宅・建築物の耐震化等の推進	<u>〈新設〉</u>	<u>「柏崎市雪対策基本計画」に基づき、屋根雪下ろしによる負担軽減と転落事故を未然に防止するため、克雪住宅の整備と命綱固定アンカーの設置を推進します。</u>	総合計画との整合
11	住宅・建築物の耐震化等の推進	学校施設は、児童生徒の安全・安心、また、災害時の地域住民の避難所・避難場所としての機能を果たす役割を担っています。そのため、小中学校の <u>施設整備及び施設改築等について、建物本体の長寿命化のほか、環境性能、バリアフリー化、防災機能への対応を推進します。</u>	学校施設は、児童生徒の安全・安心、また、災害時の地域住民の避難所・避難場所としての機能を果たす役割を担っています。そのため、小中学校の <u>施設整備について、建物本体の長寿命化のほか、環境性能、バリアフリー化、防災機能への対応を推進します。</u>	語句整理
11	住宅・建築物の耐震化等の推進	保育施設は、 <u>子どもの安全・安心、また、保育が必要な子どもを保護者の代わりに保育する施設としての機能を果たす役割を担っています。このため、保育施設及び施</u>	保育施設は、 <u>保育が必要な子どもを保護者の代わりに保育する施設として、子どもが安全・安心に過ごせる環境を提供する役割を担っています。このため、施設の改築</u>	総合計画との整合及び語句整理

頁	項目	修正前	修正後	改正理由
		<u>設改築等に当たっては、「柏崎市保育園整備基本方針」に基づき、より効率的・効果的な事業実施のために、保育園の改築、民営化による整備を推進します。</u>	<u>等に当たっては、子どもの安全安心な保育環境の確保に向けた施設整備を推進します。</u>	
11	【主な目標指標】	住宅の耐震化率 <u>R2 (2020) 87% → R7 (2025) 91%</u>	住宅の耐震化率 <u>R6 (2024) 92.1%→R11 (2029) 94.7%</u>	総合計画との整合
11	【主な目標指標】	管理不全空き家の削減件数（累計） <u>R7 (2025) までに 106 件以上</u>	管理不全空き家の削減件数（累計） <u>R8 (2026) ～R11 (2029) で 24 件以上</u> <u>※R4 (2022) ～R7 (2025) 分を含めて、累計 48 件以上</u>	総合計画との整合
11	【主な目標指標】	特定建築物の耐震化率 <u>R2 (2020) 95% → R7 (2025) 100%</u>	特定建築物の耐震化率 <u>R6 (2024) 98.7%→R11 (2029) 100%</u>	総合計画との整合
11	【主な目標指標】	<u>25 年</u> 以上経過した市内小・中学校の <u>未改修面積の割合</u> <u>R2 (2020) 29.5% → R7 (2025) 21.2%</u>	<u>30 年</u> 以上経過した市内小・中学校の <u>大規模改修工事実施割合</u> <u>R6 (2024) 45.0% → R11 (2029) 59.0%</u>	総合計画との整合
12	大規模な火災の発生に備えた消防体制の強化	地域の防火防災意識の高揚を図るため、女性防火クラブの <u>体制強化を推進します。</u>	地域の防火防災意識の高揚を図るため、女性防火クラブの <u>活動体制の維持に努めます。</u>	総合計画との整合
12	【主な目標指標】	人口千人当たりの消防団員数 <u>R2 (2020) 16.8 人 → R7 (2025) 17.0 人</u>	人口千人当たりの消防団員数 <u>R6 (2024) 17.1 人 → R11 (2029) 17.5 人</u>	総合計画との整合
13	【主な目標指標】	人口千人当たりの消防団員数 <u>R2 (2020) 16.8 人 → R7 (2025) 17.0 人</u> 【再掲】	人口千人当たりの消防団員数 <u>R6 (2024) 17.1 人 → R11 (2029) 17.5 人</u> 【再掲】	総合計画の整合
13	大規模な津波の発生に備えた避難体制の強化	最新の <u>洪水</u> ハザードマップを掲載した「防災ガイドブック（自然災害編）」を活用して、住民周知を図ります。	最新の <u>津波</u> ハザードマップを掲載した「防災ガイドブック（自然災害編）」を活用して、住民周知を図ります。	誤字修正
13	【主な目標指標】	防災士養成講座による資格取得者数 <u>R2 (2020) 42 人/年 → R7 (2025) 50 人/年</u>	防災士養成講座による資格取得者数 <u>R2 (2020) ～R6 (2024) 平均値 42 人/年 → R11 (2029) 45 人/年</u>	総合計画との整合
14	住民の水防意識向上	最新の洪水ハザードマップを掲載した「防災ガイドブック（自然災害編）」を活用して、住民周知を図ります。【 <u>再掲</u> 】	最新の洪水ハザードマップを掲載した「防災ガイドブック（自然災害編）」を活用して、住民周知を図ります。【 <u>削除</u> 】	誤字修正

頁	項目	修正前	修正後	改正理由
14	住民の水防意識向上	<u>(新設)</u>	<u>今後、当市に関する高潮浸水想定区域が設定された場合、最新の高潮ハザードマップを作成し、「防災ガイドブック（自然災害編）」との整合を図り、活用しながら住民周知を行います。</u>	総合計画との整合
14	【主な目標指標】	防災士養成講座による資格取得者数 <u>R2 (2020) 42 人/年 → R7 (2025) 50 人/年 【再掲】</u>	防災士養成講座による資格取得者数 <u>R2 (2020) ～R6 (2024) 平均値 42 人/年 → R11 (2029) 45 人/年 【再掲】</u>	総合計画との整合
14	避難者に対する防災情報の的確な伝達	FM ピッカラの演奏所を市役所 <u>新庁舎</u> に設置することにより、情報発信に関して耐災害性の向上を図ります。	FM ピッカラの演奏所を市役所 <u>本庁舎</u> に設置することにより、情報発信に関して耐災害性の向上を図ります。	時点修正
14	【主な目標指標】	人口千人当たりの消防団員数 <u>R2 (2020) 16.8 人 → R7 (2025) 17.0 人 【再掲】</u>	人口千人当たりの消防団員数 <u>R6 (2024) 17.1 人 → R11 (2029) 17.5 人 【再掲】</u>	総合計画との整合
15	【主な目標指標】	人口千人当たりの消防団員数 <u>R2 (2020) 16.8 人 → R7 (2025) 17.0 人 【再掲】</u>	人口千人当たりの消防団員数 <u>R6 (2024) 17.1 人 → R11 (2029) 17.5 人 【再掲】</u>	総合計画との整合
15	【主な目標指標】	防災士養成講座による資格取得者数 <u>R2 (2020) 42 人/年 → R7 (2025) 50 人/年 【再掲】</u>	防災士養成講座による資格取得者数 <u>R2 (2020) ～R6 (2024) 平均値 42 人/年 → R11 (2029) 45 人/年 【再掲】</u>	総合計画との整合
16	【主な目標指標】	除雪機械の更新台数（累計） <u>R2 (2020) 73 台 → R7 (2025) 95 台</u>	除雪機械の更新台数（累計） <u>R8 (2026) 98 台 → R11 (2029) 121 台</u>	総合計画との整合
16	【主な目標指標】	人口千人当たりの消防団員数 <u>R2 (2020) 16.8 人 → R7 (2025) 17.0 人 【再掲】</u>	人口千人当たりの消防団員数 <u>R6 (2024) 17.1 人 → R11 (2029) 17.5 人 【再掲】</u>	総合計画との整合
16	生活必需品の備蓄	適切な品目及び数量の備蓄を、必要最小限実施しながら、年齢・性差・障害等に対応できる体制を構築します。災害時には、現物備蓄と流通備蓄を併用し、速やかに食料品、生活必需品等を供給します。 <u>(新設)</u>	適切な品目及び数量の備蓄を、必要最小限実施しながら、年齢・性差・障害等に対応できる体制を構築します。災害時には、現物備蓄と流通備蓄を併用し、速やかに食料品、生活必需品等を供給します。 <u>また、孤立集落対策として、当該地区への防災倉庫の整備や飲食料品の備蓄整備体制を構築するよう努めます。</u>	総合計画との整合
17	【主な目標指標】	都市計画道路の改良率 <u>R2 (2020) 69.2% → R7 (2025) 70.5%</u>	都市計画道路の改良率 <u>R2 (2020) 69.2% → R11 (2029) 72.4%</u>	総合計画との整合

頁	項目	修正前	修正後	改正理由
17	【主な目標指標】	市道改良率 <u>R2 (2020) 50.4% → R7 (2025) 51.2%</u>	市道改良率 <u>R6 (2024) 51.7% → R11 (2029) 52.4%</u>	総合計画との整合
17	【主な目標指標】	橋りょう長寿命化修繕（累計） <u>R2 (2020) 100 橋 → R7 (2025) 130 橋</u>	橋りょう長寿命化修繕（累計） <u>R6 (2024) 125 橋 → R11 (2029) 148 橋</u>	総合計画との整合
17	【主な目標指標】	水道管路の耐震化率 <u>H27 (2015) 31.5% → R7 (2025) 35.3%</u>	水道管路の耐震化率 <u>H27 (2015) 31.5% → R11 (2029) 36.3%</u>	総合計画との整合
17	【主な目標指標】	基幹配水池の耐震化率 <u>H27 (2015) 5.2% → R7 (2025) 81.6%</u>	基幹配水池の耐震化率 <u>H27 (2015) 5.2% → R11 (2029) 81.6%</u>	総合計画との整合
17	【主な目標指標】	橋りょう（農道橋）長寿命化修繕（累計） <u>R2 (2020) 0 橋 → R6 (2024) 3 橋</u>	橋りょう（農道橋）長寿命化修繕（累計） <u>R8 (2026) 3 橋 → R11 (2029) 3 橋</u>	総合計画との整合
18	【主な目標指標】	除雪機械の更新台数（累計） <u>R2 (2020) 73 台 → R7 (2025) 95 台【再掲】</u>	除雪機械の更新台数（累計） <u>R8 (2026) 98 台 → R11 (2029) 121 台【再掲】</u>	総合計画との整合
18	消防や救急活動における情報伝達収集機能の充実・強化	災害発生時に対策本部や <u>救急・救助機関</u> の機能を維持するために、通信手段・非常用電源の確保や燃料の備蓄などを推進します。	災害発生時に対策本部や <u>救助・救急機関</u> の機能を維持するために、通信手段・非常用電源の確保や燃料の備蓄などを推進します。	誤字修正
18	【主な目標指標】	人口千人当たりの消防団員数 <u>R2 (2020) 16.8 人 → R7 (2025) 17.0 人【再掲】</u>	人口千人当たりの消防団員数 <u>R6 (2024) 17.1 人 → R11 (2029) 17.5 人【再掲】</u>	総合計画との整合
19	【主な目標指標】	<u>医師数（医療施設従事者）</u> <u>H30 (2018) 117 人 → R7 (2025) 117 人</u>	<u>臨床研修医数（累計）</u> <u>R6 (2024) 12 人 → R11 (2029) 30 人</u>	総合計画との整合
19	【主な目標指標】	<u>看護職員数（病院従事者）</u> <u>H30 (2018) 724 人 → R7 (2025) 727 人</u>	<u>認定看護師・特定行為看護師数</u> <u>R6 (2024) 32 人 → R11 (2029) 42 人</u>	総合計画との整合
19	救急・搬送体制の整備	感染症対策 <u>のため、救急活動に係る職員に予防接種を実施します。</u>	感染症対策として救急活動に係る職員に <u>予防接種を実施するとともに、感染防止資機材等の補充・備蓄体制の構築を推進します。</u>	項目の統合
19	救急・搬送体制の整備	<u>新型コロナウイルス等、感染症対策として、感染防止資機材等の補充・備蓄体制の構築を推進します。</u>	<u>（削除）</u>	項目の統合
19	【主な目標指標】	柏崎市汚水処理人口普及率 <u>H27 (2015) 98.1% → R7 (2025) 99.0%</u>	柏崎市汚水処理人口普及率 <u>R6 (2024) 98.9% → R17 (2035) 99.0%</u>	総合計画との整合

頁	項目	修正前	修正後	改正理由
19	【主な目標指標】	柏崎市水洗化率 <u>H27 (2015) 97.1% → R7 (2025) 98.0%</u>	柏崎市水洗化率 <u>R6 (2024) 97.6% → R17 (2035) 98.0%</u>	総合計画との整合
19	予防接種や感染症対策の推進	感染症に罹患すると重症化しやすい高齢者に対し、 <u>季節性インフルエンザ</u> 及び肺炎球菌感染症の予防接種を推進します。	感染症に罹患すると重症化しやすい高齢者に対し、 <u>インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、带状疱疹</u> 及び肺炎球菌感染症の予防接種を推進します。	総合計画との整合
20	避難所の環境整備や機能強化	学校施設は、児童生徒の安全・安心、また、災害時の地域住民の避難所・避難場所としての機能を果たす役割を担っています。そのため、小中学校の <u>施設整備及び施設改築等について、建物本体の長寿命化のほか、環境性能、バリアフリー化、防災機能への対応を推進します。【再掲】</u>	学校施設は、児童生徒の安全・安心、また、災害時の地域住民の避難所・避難場所としての機能を果たす役割を担っています。そのため、小中学校の <u>施設整備について、建物本体の長寿命化のほか、環境性能、バリアフリー化、防災機能への対応を推進します。【再掲】</u>	語句整理
20	<u>避難者の健康管理及び処遇調整の充実</u>	<u>(新設)</u>	<u>避難所へ巡回訪問を行い、健康相談や保健福祉的な視点で調整を行うほか、心のケア対策への支援を行います。</u>	総合計画との整合
20	【主な目標指標】	<u>25 年以上経過した市内小・中学校の未改修面積の割合</u> <u>R2 (2020) 29.5% → R7 (2025) 21.2%</u>	<u>30 年以上経過した市内小・中学校の大規模改修工事実施割合</u> <u>R6 (2024) 45.0% → R11 (2029) 59.0%【再掲】</u>	総合計画との整合
21	住民への情報伝達体制の強化・多重化	FM ピッカラの演奏所を市役所 <u>新庁舎</u> に設置することにより、情報発信に関して耐災害性の向上を図ります。【再掲】	FM ピッカラの演奏所を市役所 <u>本庁舎</u> に設置することにより、情報発信に関して耐災害性の向上を図ります。【再掲】	時点修正
23	【主な目標指標】	鳥獣侵入防止柵整備距離数（総延長） <u>R2 (2020) 280 km → R7 (2025) 570 km</u>	鳥獣侵入防止柵整備距離数（総延長） <u>R6 (2024) 445 km → R10 (2028) 560 km</u>	総合計画との整合
23	【主な目標指標】	<u>イノシシ捕獲数（有害鳥獣捕獲分のみ、延べ頭数）</u> <u>R2 (2020) 1,190 頭 → R7 (2025) 2,250 頭</u>	<u>イノシシ・ニホンジカ捕獲数（有害鳥獣捕獲分のみ、延べ頭数）</u> <u>R6 (2024) 1,982 頭 → R10 (2028) 3,300 頭</u>	総合計画との整合
23	【主な目標指標】	水道管路の耐震化率 <u>H27 (2015) 31.5% → R7 (2025) 35.3%【再掲】</u>	水道管路の耐震化率 <u>H27 (2015) 31.5% → R11 (2029) 36.3%【再掲】</u>	総合計画との整合
23	【主な目標指標】	基幹配水池の耐震化率 <u>H27 (2015) 5.2% → R7 (2025) 81.6%【再掲】</u>	基幹配水池の耐震化率 <u>H27 (2015) 5.2% → R11 (2029) 81.6%【再掲】</u>	総合計画との整合
24	【主な目標指標】	都市計画道路の改良率 <u>R2 (2020) 69.2% → R7 (2025) 70.5%【再掲】</u>	都市計画道路の改良率 <u>R2 (2020) 69.2% → R11 (2029) 72.4%【再掲】</u>	総合計画との整合

頁	項目	修正前	修正後	改正理由
24	【主な目標指標】	市道改良率 <u>R2 (2020) 50.4% → R7 (2025) 51.2% 【再掲】</u>	市道改良率 <u>R6 (2024) 51.7% → R11 (2029) 52.4% 【再掲】</u>	総合計画との整合
24	【主な目標指標】	橋りょう長寿命化修繕（累計） <u>R2 (2020) 100 橋 → R7 (2025) 130 橋 【再掲】</u>	橋りょう長寿命化修繕（累計） <u>R6 (2024) 125 橋 → R11 (2029) 148 橋 【再掲】</u>	総合計画との整合
24	住民の広域避難の円滑化	<u>(新設)</u>	<u>原子力災害時における住民避難にあたり、多くの車両が通行できる高速道路を一層活用するため、北陸自動車道へ進入するための追加インターチェンジ及び緊急進入路の整備を推進します。</u>	総合計画との整合
24	住民の広域避難の円滑化	<u>原子力災害時における住民避難の主要な避難経路となる国道 8 号バイパスの整備促進をはじめ、中山間部を走る国道 252 号、291 号、353 号の狭隘部の解消や、浸水、土砂崩れ、雪崩等による道路の閉塞防止、バイパス道路の整備などを国及び県に求めています。</u>	<u>主要な避難経路となる国道 8 号バイパスの整備促進をはじめ、中山間部を走る国道 252 号、291 号、353 号の狭隘部の解消や、浸水、土砂崩れ、雪崩等による道路の閉塞防止、バイパス道路の整備などを国及び県に求めています。</u>	時点修正
25	住民の広域避難の円滑化	<u>停電時において円滑な避難ができるよう、即時避難区域（PAZ）の情報集積地であるコミュニティセンターに蓄電池の設置を推進します。</u>	<u>停電時において円滑な避難ができるよう、即時避難区域（PAZ）の情報集積地であるコミュニティセンターに設置した蓄電池について、適正な維持管理に努めます。</u>	時点修正
25	【主な目標指標】	都市計画道路の改良率 <u>R2 (2020) 69.2% → R7 (2025) 70.5% 【再掲】</u>	都市計画道路の改良率 <u>R2 (2020) 69.2% → R11 (2029) 72.4% 【再掲】</u>	総合計画との整合
25	【主な目標指標】	市道改良率 <u>R2 (2020) 50.4% → R7 (2025) 51.2% 【再掲】</u>	市道改良率 <u>R6 (2024) 51.7% → R11 (2029) 52.4% 【再掲】</u>	総合計画との整合
25	【主な目標指標】	橋りょう長寿命化修繕（累計） <u>R2 (2020) 100 橋 → R7 (2025) 130 橋 【再掲】</u>	橋りょう長寿命化修繕（累計） <u>R6 (2024) 125 橋 → R11 (2029) 148 橋 【再掲】</u>	総合計画との整合
25	原子力防災体制の充実・強化	<u>応急対策に従事する防災業務関係者の安全を確保するため、放射線防護資機材等の増強を図ります。</u>	<u>応急対策に従事する防災業務関係者の安全を確保するため、放射線防護資機材等の更新を図り、適正な維持管理に努めます。</u>	語句整理
26	【主な目標指標】	<u>原子力防災対策に関する研修会等の開催回数 R2 (2020) 13 回 → R7 (2025) 40 回</u>	<u>(削除)</u>	項目の統合

頁	項目	修正前	修正後	改正理由
26	【主な目標指標】	原子力防災対策に関する研修会等の参加人数(延べ人数) <u>R2(2020) 212人 → R7(2025) 800人</u>	原子力防災対策に関する研修会等の参加人数(延べ人数) <u>R6(2024) 4,492人 → R11(2029) 4,800人</u>	総合計画との整合
26	住民の大量被ばくの防 止	<u>安定ヨウ素剤の事前配布を避難準備区域(UPZ)に拡大し、事前配布を進めるとともに、緊急配布体制の早期構築を県と協力して進めていきます。</u>	<u>安定ヨウ素剤の事前配布を進めるとともに、県と協力し緊急配布訓練を実施し、緊急配布体制の実効性を高めていきます。</u>	時点修正
26	住民の大量被ばくの防 止	安定ヨウ素剤の緊急配布を円滑に行うため、市内の保育園・幼稚園、小中学校等に分散備蓄した安定ヨウ素剤の適正管理を図るとともに、 <u>病院や社会福祉施設等の入所施設における備蓄及び配布体制の整備を県と協力して進めていきます。</u>	安定ヨウ素剤の緊急配布を円滑に行うため、市内の保育園・幼稚園、小中学校等に分散備蓄した安定ヨウ素剤の適正管理を図ります。	時点修正
26	市民への的確な情報伝 達	原子力災害時におけるバス避難集合場所指定施設に、 <u>集合場所表示看板の設置を推進します。</u>	原子力災害時におけるバス避難集合場所指定施設の <u>表示看板について、適正な維持管理に努めます。</u>	時点修正
26	【主な目標指標】	<u>原子力防災対策に関する研修会等の開催回数【再掲】</u> <u>R2(2020) 13回 → R7(2025) 40回</u>	<u>(削除)</u>	項目の統合
26	【主な目標指標】	原子力防災対策に関する研修会等の参加人数(延べ人数) <u>R2(2020) 212人 → R7(2025) 800人【再掲】</u>	原子力防災対策に関する研修会等の参加人数(延べ人数) <u>R6(2024) 4,492人 → R11(2029) 4,800人【再掲】</u>	総合計画との整合
26	有害物質の漏えい対策	<u>(新設)</u>	<u>建築物の老朽化、倒壊等に伴い建築物に吹き付けられたアスベストの飛散によって、周辺住民の健康被害が発生することを防止するために、建築物の所有者等が行うアスベストの分析調査及び除去等を推進します。</u>	総合計画との整合
27	【主な目標指標】	水田整備率 <u>R2(2020) 52.5% → R7(2025) 57.0%</u>	水田整備率 <u>R8(2026) 57.0% → R11(2029) 59.5%</u>	総合計画との整合
27	【主な目標指標】	<u>ごみの減量化</u> <u>R1(2019) 27,859t → R7(2025) 24,270t</u>	<u>1人1日当たりごみ焼却量</u> <u>R6(2024) 704g → R17(2035) 522t</u>	総合計画との整合
27	【主な目標指標】	資源物のリサイクル率向上 <u>R1(2019) 18.7% → R7(2025) 23.1%</u>	資源物のリサイクル率向上 <u>R6(2024) 19.3% → R17(2035) 24.3%</u>	総合計画との整合

頁	項目	修正前	修正後	改正理由
28	【主な目標指標】	防災士養成講座による資格取得者数 <u>R2 (2020) 42 人/年 → R7 (2025) 50 人/年 【再掲】</u>	防災士養成講座による資格取得者数 <u>R2 (2020) ～R6 (2024) 平均値 42 人/年 → R11 (2029) 45 人/年 【再掲】</u>	総合計画との整合
28	復旧・復興を担う人材育成	中越沖地震からの復興で得た教訓を生かした防災教育を、 <u>中越沖地震メモリアル事業の中で小中学生に実施し、災害を身近に感じてもらうことで柏崎への愛着を育み、将来的に復旧・復興を支える人材を育成します。</u>	中越沖地震からの復興で得た教訓を生かした防災教育を、 <u>小中学校の授業や中越沖地震メモリアル事業の中で実施し、災害を身近に感じてもらうことで、将来的に復旧・復興を支える人材を育成します。</u>	総合計画との整合
28	【主な目標指標】	<u>市内全小中学校（特別支援学校含む）への防災教育の実施</u> <u>R3 (2021) までに 34 校へ実施</u> <u>R4 (2022) からは 34 校へ毎年度実施</u>	<u>市内全小中学校（特別支援学校含む）における防災教育実施率 100%の維持</u>	総合計画との整合
28	【主な目標指標】	コミュニティセンター利用者数 <u>R2 (2020) 210,669 人 → R7 (2025) 400,000 人</u>	コミュニティセンター利用者数 <u>R6 (2024) 269,389 人 → R11 (2029) 272,000 人</u>	総合計画との整合
28	【主な目標指標】	<u>原子力防災対策に関する研修会等の開催回数 【再掲】</u> <u>R2 (2020) 13 回 → R7 (2025) 40 回</u>	<u>(削除)</u>	項目の統合
29	【主な目標指標】	原子力防災対策に関する研修会等の参加人数（延べ人数） <u>R2 (2020) 212 人 → R7 (2025) 800 人 【再掲】</u>	原子力防災対策に関する研修会等の参加人数（延べ人数） <u>R6 (2024) 4,492 人 → R11 (2029) 4,800 人 【再掲】</u>	総合計画との整合